

NPB 2020年シーズン総括

新型コロナウイルス影響下における取り組み



2021年1月31日

目次

シーズン総括

1. 感染症対策

1-1 検査実績	3
----------------	---

2. 競技面への影響

2-1 2020年シーズン日程.....	4
----------------------	---

2-2 2020年シーズンの特例事項について.....	5
-----------------------------	---

3. 2020年度公式戦入場者数

3-1 リーグ別.....	8
---------------	---

3-2 入場者制限段階別・前年比.....	12
-----------------------	----

4. 応援団活動について.....	14
-------------------	----

発生事例

1. チーム関係者に関する事例.....	17
----------------------	----

2. その他の陽性・陰性事例.....	18
---------------------	----

3. 症状別状況（チーム関係者）	19
------------------------	----

シーズン総括

1. 感染症対策

1-1 検査実績

- (1) 定期検査（球団関係者、審判員） : **11,552件**
(2020年6月3日～2020年11月11日)

- (2) 非定期検査（記録員、NPB職員等） : **121件**
(2020年6月16日～2020年11月18日)

シーズン総括

2. 競技面への影響

2-1 2020年シーズン日程

	2020年シーズン日程	(当初予定)
1球団当たり試合数	120試合	143試合
開幕	6月19日	3月20日
交流試合	中止	5月26日(火)～6月18日(木)
フレッシュオールスターゲーム	中止	7月13日(月) ※7月14日(火)予備日
オールスターゲーム	中止	7月19日(日)：福岡PayPayドーム 7月20日(月)：ナゴヤドーム
ファーム日本選手権	11月7日(土)：サンマリスタジアム宮崎	10月3日(土)：サンマリスタジアム宮崎 ※10月4日(日)予備日
ドラフト会議	10月26日(月)	11月5日(木)
クライマックスシリーズ	セ・リーグ：中止 パ・リーグ：11月14日(土)～17日(火) ※11月18日(水)予備日	セ・パ共通： 10月24日(土)～26日(月) ※11月27日(火)予備日 ：ファーストステージ 10月28日(水)～11月2日(月) ：ファイナルステージ ※11月3日(火)・4日(水)予備日
日本シリーズ	11月21日(土) セ本拠地 11月22日(日) セ本拠地 11月23日(月) 移動日 11月24日(火) パ本拠地 11月25日(水) パ本拠地 11月26日(木) パ本拠地 11月27日(金) 移動日 11月28日(土) セ本拠地 11月29日(日) セ本拠地	11月7日(土) セ本拠地 11月8日(日) セ本拠地 11月9日(月) 移動日 11月10日(火) パ本拠地 11月11日(水) パ本拠地 11月12日(木) パ本拠地 11月13日(金) 移動日 11月14日(土) セ本拠地 11月15日(日) セ本拠地
NPB AWARDS	12月17日(木)	11月30日(月)

シーズン総括

2. 競技面への影響

2-2 2020年シーズンの特例事項について

(1) 主な特例事項

- レギュラーシーズンは**6球団24回戦**総当たりの各球団**120試合**とする。
- クライマックスシリーズは、パ・リーグは**1位球団と2位球団**の対戦、セ・リーグは開催しない。
- 延長回は**10回**までとし、**10回**を終わってなお同点の場合は引き分け試合とする。
(イースタン、ウエスタンも同様)
- 出場選手登録は**1球団31名**まで、ベンチ入りは**26名**まで。(うち外国人選手は出場選手登録**5名**以内、ベンチ入り**4名**以内)
- 「勝率第一位投手賞」の表彰は**10勝**以上を規定とする。(従来は**13勝**以上)
- 新型コロナウイルス感染拡大を防止し、シーズンを最後まで継続することを目的に「感染拡大防止特例**2020**」を新設。
本人や家族の感染疑いや体調不良の症状が発生した場合、選手異動手続き(出場選手登録、登録抹消)に特例を適用することができる。

2. 競技面への影響

2-2 2020年シーズンの特例事項について

(2) 「感染拡大防止特例2020」

▼概要

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、野球協約第85条を適用せずに出場選手を登録することを可能とする。
- ・適用された当該選手の登録に関する権利は、本特例適用開始から10日後に消滅する。
但し、FA日数・追加参稼報酬は練習復帰前日まで補償される。
- ・代替選手、「代替の代替選手」の登録に関する権利は、本特例適用開始から10日後に消滅する。
- ・不正な申告と認められた場合、チーム・選手に制裁を科す。

※野球協約第85条…年度連盟選手権試合期間中、出場選手の登録を抹消された選手は、登録の抹消公示の日から試合に出場することが停止され、登録の抹消公示の日を含み10日を経過しなければ、再び出場選手の登録を申請することはできない。

シーズン総括

▼「特例2020」における選手異動

当該選手とは

- ・保健所より、陽性または濃厚接触者と判定された選手。また、陽性の疑い、濃厚接触の疑いがあると球団が判断した選手。
- ・抹消された後、10日間を経ずに再登録が可能。

代替選手とは

- ・当該選手に代わって“代替選手”を登録できる。
- ・守備位置は、当該選手と同一でなくてよい。
- ・抹消されてから10日間を経ていない選手からも登録できる。
- ・当該選手数を上回らない。（当該選手数 \geq 代替選手数）

「代替の代替」とは

- ・代替選手は、複数回変更できる。
- ・守備位置は、当該選手と同一でなくてよい。
- ・抹消されてから10日間を経ていない選手からも登録できる。

運用方法

- ・適用時は、選手数の制限を設けない。
- ・同一選手の特例適用回数の制限を設けない。
- ・当該選手の抹消と同時に代替選手を登録しなくてもよい。
- ・代替選手の抹消と同時に「代替の代替選手」を登録しなくてもよい。
- ・代替選手、「代替の代替選手」は、抹消後10日間を経ていない選手からも登録が可能。
- ・当該選手の登録に伴い、代替選手が抹消された場合は、10日間を経ずに登録が可能。
- ・当該選手の登録に伴い、代替選手以外の選手を抹消することが可能。

※この場合、再登録には10日間が必要となる。

- ・抹消された代替選手、「代替の代替選手」は、再登録には10日間が必要となる。

但し、代替選手との入れ替えに限り、10日間を経ずに登録が可能。

▼「特例2020」におけるF A日数・追加参稼報酬

- ・当該選手のF A日数は、登録抹消日を起算日とし、体調が回復し一軍、二軍を問わず練習に合流する前日までの日数を加算する。
- ・当該選手の追加参稼報酬は、登録抹消日を起算日とし、体調が回復し一軍、二軍を問わず練習に合流する前日までの日数を加算する。
- ・前年度、F A日数145日を自力で取得した選手が、開幕日以前に新型コロナウイルス感染（陽性、濃厚接触者を含む）の影響で開幕ロースターに登録されなかった場合、一軍、二軍を問わず練習に合流する前日までの日数を加算する。
- ・新型コロナウイルス感染（陽性、濃厚接触者を含む）の影響に限り、開幕ロースター提出後でも選手変更を可能とする。

シーズン総括

- 2020年シーズン「感染拡大防止特例2020」適用実績

9月25日：	10名	(阪神)
10月5日：	1名	(千葉ロッテ)
10月6日：	11名	(千葉ロッテ)
10月7日：	1名	(千葉ロッテ)

- 12球団中2球団で特例適用
- 発生件数4件
- 特例適用当該選手のべ23名

シーズン総括

3. 2020年度公式戦入場者数

3-1 リーグ別

(1) セントラル・リーグ

	試合	入場者数	1試合平均	最多入場者数	最小入場者数
広島東洋	60	537,857	8,964	16,039	4,977
阪神	60	517,944	8,632	21,392	3,593
読売	60	492,526	8,209	31,735	4,503
横浜DeNA	60	467,700	7,795	27,850	4,681
中日	60	378,006	6,300	17,360	3,609
東京ヤクルト	60	360,593	6,010	14,484	4,903
計	360	2,754,626	7,652		

※ホームゲームのみ対象

※試合、1試合平均には無観客試合を含む。

最多入場者数、最小入場者数には無観客試合を含まない。

シーズン総括

3. 2020年度公式戦入場者数

3-1 リーグ別

(1) セントラル・リーグ

(参考：過去2年間の入場者数)

	2019			2018		
	試合数	入場者数	1試合平均	試合数	入場者数	1試合平均
広島東洋	71	2,223,619	31,319	72	2,232,100	31,001
阪神	72	3,091,335	42,935	71	2,898,976	40,831
読売	71	3,027,682	42,643	72	3,002,347	41,699
横浜DeNA	72	2,283,524	31,716	72	2,027,922	28,166
中日	72	2,285,333	31,741	71	2,146,406	30,231
東京ヤクルト	71	1,955,578	27,543	71	1,927,822	27,152
計	429	14,867,071	34,655	429	14,235,573	33,183

シーズン総括

3. 2020年度公式戦入場者数

3-1 リーグ別

(2) パシフィック・リーグ

	試合	入場者数	1試合平均	最多入場者数	最小入場者数
福岡ソフトバンク	60	532,723	8,879	19,995	1,839
千葉ロッテ	60	389,995	6,500	13,379	3,986
オリックス	60	333,559	5,559	12,300	3,767
埼玉西武	60	300,120	5,002	11,392	4,480
北海道日本ハム	60	276,471	4,608	19,109	1,761
東北楽天	60	236,084	3,935	12,380	2,320
計	360	2,068,952	5,747		

※ホームゲームのみ対象

※試合、1試合平均には無観客試合を含む。

最多入場者数、最小入場者数には無観客試合を含まない。

シーズン総括

3. 2020年度公式戦入場者数

3-1 リーグ別

(2) パシフィック・リーグ

(参考：過去2年間の入場者数)

	2019			2018		
	試合数	入場者数	1試合平均	試合数	入場者数	1試合平均
福岡ソフトバンク	72	2,656,182	36,891	71	2,566,554	36,149
千葉ロッテ	71	1,665,891	23,463	72	1,665,133	23,127
オリックス	71	1,733,998	24,423	72	1,625,365	22,575
埼玉西武	72	1,821,519	25,299	71	1,763,174	24,833
北海道日本ハム	72	1,970,516	27,368	71	1,968,916	27,731
東北楽天	71	1,821,785	25,659	72	1,726,004	23,972
計	429	11,669,891	27,203	429	11,315,146	26,376

シーズン総括

3. 2020年度公式戦入場者数

3-2 入場者制限段階別・前年比

(1) 入場者制限段階別

	シーズン計			無観客 (6/19~7/9)			5000人まで (7/10~9/18)			50%まで (9/19~)		
	入場者数	試合数	1試合平均	入場者数	試合数	1試合平均	入場者数	試合数	1試合平均	入場者数	試合数	1試合平均
ソフトバンク	532,723	60	8,879	0	6	0	153,139	33	4,641	379,584	21	18,075
ロッテ	389,995	60	6,500	0	8	0	146,548	30	4,885	243,447	22	11,066
西武	300,120	60	5,002	0	15	0	98,814	21	4,705	201,306	24	8,388
楽天	236,084	60	3,935	0	12	0	116,028	32	3,626	120,056	16	7,504
日本ハム	276,471	60	4,608	0	6	0	126,930	33	3,846	149,541	21	7,121
オリックス	333,559	60	5,559	0	6	0	139,855	31	4,511	193,704	23	8,422
パ・リーグ計	2,068,952	360	5,747	0	53	0	781,314	180	4,341	1,287,638	127	10,139
巨人	492,526	60	8,209	0	12	0	138,367	28	4,942	354,159	20	17,708
阪神	517,944	60	8,632	0	1	0	161,628	33	4,898	356,316	26	13,704
中日	378,006	60	6,300	0	9	0	130,355	28	4,656	247,651	23	10,767
DeNA	467,700	60	7,795	0	9	0	153,902	31	4,965	313,798	20	15,690
広島	537,857	60	8,964	0	4	0	159,703	32	4,991	378,154	24	15,756
ヤクルト	360,593	60	6,010	0	14	0	138,978	28	4,964	221,615	18	12,312
セ・リーグ計	2,754,626	360	7,652	0	49	0	882,933	180	4,905	1,871,693	131	14,288
合計	4,823,578	720	6,699	0	102	0	1,664,247	360	4,623	3,159,331	258	12,245

シーズン総括

3. 2020年度公式戦入場者数

3-2 入場者制限段階別・前年比

(2) 前年比

	2020年					2019年		
	試合数	入場者数	(入場者数前年比)	1試合平均	(1試合平均前年比)	試合数	入場者数	1試合平均
ソフトバンク	60	532,723	-79.9%	8,879	-75.9%	72	2,656,182	36,891
ロッテ	60	389,995	-76.6%	6,500	-72.3%	71	1,665,891	23,463
西武	60	300,120	-83.5%	5,002	-80.2%	72	1,821,519	25,299
楽天	60	236,084	-87.0%	3,935	-84.7%	71	1,821,785	25,659
日本ハム	60	276,471	-86.0%	4,608	-83.2%	72	1,970,516	27,368
オリックス	60	333,559	-80.8%	5,559	-77.2%	71	1,733,998	24,423
パ・リーグ計	360	2,068,952	-82.3%	5,747	-78.9%	429	11,669,891	27,203
巨人	60	492,526	-83.7%	8,209	-80.7%	71	3,027,682	42,643
阪神	60	517,944	-83.2%	8,632	-79.9%	72	3,091,335	42,935
中日	60	378,006	-83.5%	6,300	-80.2%	72	2,285,333	31,741
DeNA	60	467,700	-79.5%	7,795	-75.4%	72	2,283,524	31,716
広島	60	537,857	-75.8%	8,964	-71.4%	71	2,223,619	31,319
ヤクルト	60	360,593	-81.6%	6,010	-78.2%	71	1,955,578	27,543
セ・リーグ計	360	2,754,626	-81.5%	7,652	-77.9%	429	14,867,071	34,655
合計	720	4,823,578	-81.8%	6,699	-78.3%	858	26,536,962	30,929

シーズン総括

4. 応援団活動について

観客動員推移		応援団担当会議検討内容
開幕6月19日 ～7月9日 セ・リーグ49試合 パ・リーグ53試合	◆無観客	<p>3月 3日：NPBとJリーグ合同で設置した第一回「新型コロナウイルス対策連絡会議」開催</p> <p>3月 9日：第二回連絡会議を受けた12球団代表者会議で3月20日の開幕延期を決定。</p> <p>4月23日：12球団代表者会議で無観客での開催を決定。</p> <p>5月25日：代表者会議で開幕日を6月19日に決定。</p> <p>6月19日：無観客で開幕</p>
7月10日～9月18日 セ・リーグ180試合 パ・リーグ180試合	◆5000人上限	<p>6月24日：応援団担当者会議⇒7月10日からの上限5000人有客での応援スタイルを検討。 【政府によるイベント開催制限の段階的緩和の目安】 出典：「新型コロナウイルス感染症対策本部（第36回）資料6-1内閣官房」</p> <p>7月15日～31日の期間を、観客の反応を確かめながら、新規応援スタイルのテスト運用期間とすることを決定。</p> <p>7月15日：応援団担当者会議⇒7月10日から前日までの応援活動経緯報告共有。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応援団がないと観客の統率が取れず、大声を出すなど勝手な振る舞いをする客がいた。 ・場内放送で、大声禁止の注意喚起を実施。 ・応援団を入場させず応援活動は実施しない球団もあり。 <p>⇒NPB全体として判断する際には基本は国の指針、それを受けた地方自治体、保健所の判断にて行う。NPBで独自に緩和や制限解除をすることはない。世論も考えたうえで国の指針に準拠することは必須。近日中に政府の分科会が行われるようなので、そこでの判断を参考とし今後の活動を検討することで合意。もちろん専門家の先生方のご意見もいただく。</p>
9月19日～ セ・リーグ131試合 パ・リーグ127試合	◆50%上限	<p>9月12日：臨時実行委員会にて、上限5000人制限を9月19日から収容人員の50%へ緩和することを決定</p> <p>9月18日：応援団担当者会議：50%への増員後の応援活動を検討。 応援活動は球場、球団毎の判断で実施することと、新しい応援スタイルについてNPB12球団としての共通理念を発表することを決定。</p> <p>9月21日：「新型コロナウイルス禍での特別応援許可申請」発布。</p>

シーズン総括

4. 応援団活動について

応援スタイルについて（NPB新型コロナウイルス感染予防ガイドラインより抜粋）

原則：応援歌合唱、鳴り物使用、大声、ハイタッチ等の接触禁止。

・ジェット風船応援	×（飛沫感染リスク）
・肩組み、飛び跳ね等集団での動きを伴う応援	×（接触感染リスク）
・指笛の応援	×（飛沫感染リスク）
・トランペット・ホイッスル等の鳴り物応援	×（飛沫感染リスク）
・メガホンを打ち鳴らしながらの声援（自然に歓声が大きくなる） ※但し、歓声を抑えて、メガホンを打ち鳴らすことは可	×（飛沫感染リスク）
・ビッグフラッグ応援（旗の下で多数が密集状態で旗を動かす）	×（接触感染リスク）
・ビッグプレー、ファインプレー等での観客のハイタッチ	×（接触感染リスク）
・両手をメガホン代わりにした大声での声援、応援	×（飛沫感染リスク）
・フラッグ応援（多数が新聞紙大の手旗を振る）	×（接触感染リスク）
・応援タオルを振り回す	×（応援タオルが飛沫等で汚染され、飛散する恐れ）
（応援可能例）	
・電子ホイッスル、拡声器の使用	
・プレーの度の拍手や通常の声援（両手をメガホン代わりに使わない）	
・拍手応援（自席で手をたたき歌う程度で大声は避ける）	
・応援団の太鼓リードによる声援・拍手	
・応援タオルを横に広げて左右に振る	

4. 応援団活動について

新型コロナウイルス禍での特別許可応援について

2020年9月21日

日本プロフェッショナル野球組織

プロ野球は2020年シーズン、新型コロナウイルス感染症の流行下で様々な困難に直面しながらも、チーム、球団、球場が一丸となって厳格な感染対策に取り組んでいます。試合開催においても、7月10日から上限5,000人で有観客試合を始め、9月19日からは観客数を最大収容人数の50%に増やすことになったため、観客の皆様にも感染拡大防止への協力をより徹底してお願いしております。シーズン終了まで球場での感染連鎖・感染拡大を起こすことなく、選手たちにペナントレースをやり遂げさせることが、今シーズンの応援であり、許可応援団にはそれに貢献する応援団活動が求められています。応援活動は各球団、応援団の判断と責任で行うものですので、許可応援団の皆様にも、特別応援許可規程に基づき、各球団と綿密に協議したうえで、一般の観客の模範となるよう、円滑な試合の進行と他の観客の安全かつ平穏な観戦に積極的に協力するようお願いいたします。具体的には、以下の点についてご注意ください。

1. NPB新型コロナウイルス感染予防ガイドラインや、各球場における感染対策の取り組みを十分理解した上で、応援活動のルール等を厳格に遵守する
2. 応援活動では自ら大声を出さないことはもちろん、一般の観客に大声を出させない、歓声を煽らない、密集を作らせないことを徹底する
3. 応援活動時に限らず球場内では必ずマスクを着用した上で、一般の観客だけでなく団員間でも会話は必要最低限にとどめる。握手、ハイタッチなどの身体接触も避ける
4. 一般の観客に飛沫や接触を避けた手拍子等を促すリードに努め、感染対策告知等の球場内演出にも積極的に協力する
5. 観客の苦情を受けた場合、球場、球団職員に伝えた上で真摯に対応する
6. 相手球団の応援団も活動する場合は応援合戦することは厳に慎み、互いに協力して、球場内全体における応援の節度を保つよう努める
7. 万が一、応援活動によって、観客が大声を出してしまうような状況が生じた場合、または、主催者がそう判断した場合は、応援活動を取り止める

以上

発生事例

1. チーム関係者に関する事例

(1) チーム関係者陽性事例

- **全12件**

陽性者：39名

(選手：22名 コーチ：2名 スタッフ：13名 球団職員：1名 審判員：1名)

(2) チーム関係者陰性事例

- **全42件**

選手：33名 コーチ：4名

スタッフ：5件 (打撃投手：3名 トレーナー：1名 チームスタッフ：1名)

発生事例

2. その他の陽性・陰性事例

(1) チーム関係者家族の体調不良に関する事例

- **全12件**

選手6名、打撃投手1名、トレーナー2名、スコアラー1名、ファームスタッフ1名、
球団職員1名

家族が陽性となった事例2件（うち球団関係者が濃厚接触者に認定された事例1件）

(2) チームと接触のないスタッフに関する事例

- **全28件**（陽性事例：18件 濃厚接触者事例：4件 体調不良：6件）

陽性者：19名 濃厚接触者：4名

球団職員：10名 球場職員：1名 派遣社員：1名

業務委託者・アルバイトスタッフ：13名 アカデミースタッフ：4名

(3) 観客に関する事例

- 報告事例全6件（陽性事例5件、濃厚接触者1件）

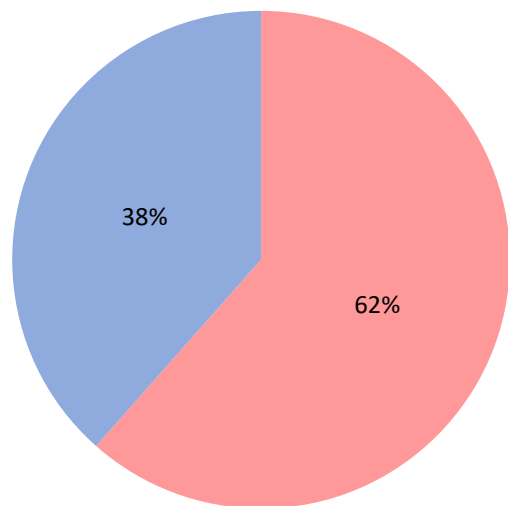
※保健所の調査委対象となった事例は2件あったが、球場内感染は0件

発生事例

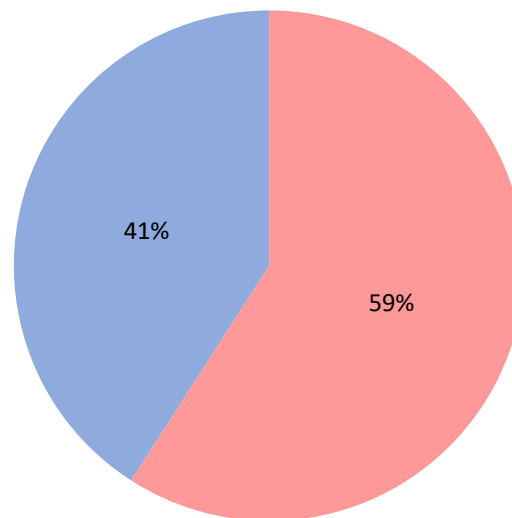
3. 症状別状況（チーム関係者）

			症状							
			発熱	倦怠感	喉の痛み・違和感	嗅覚異常	鼻詰まり	味覚異常	咳	頭痛
全体	有症状	24 61.5%	18	5	6	4	3	2	2	2
	無症状	15 38.5%	46.2%	12.8%	15.4%	10.3%	7.7%	5.1%	5.1%	5.1%
選手	有症状	13 59.1%	9	2	1	2	2	1	0	2
	無症状	9 40.9%	40.9%	9.1%	4.5%	9.1%	9.1%	4.5%	0.0%	9.1%

症状の有無（全体）



症状の有無（選手）

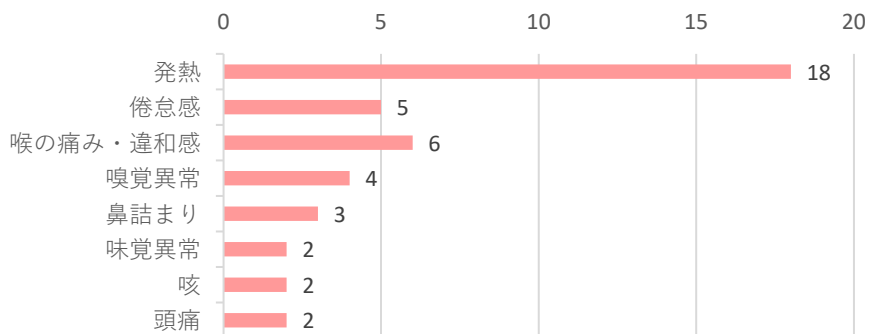


■ 有症状
■ 無症状

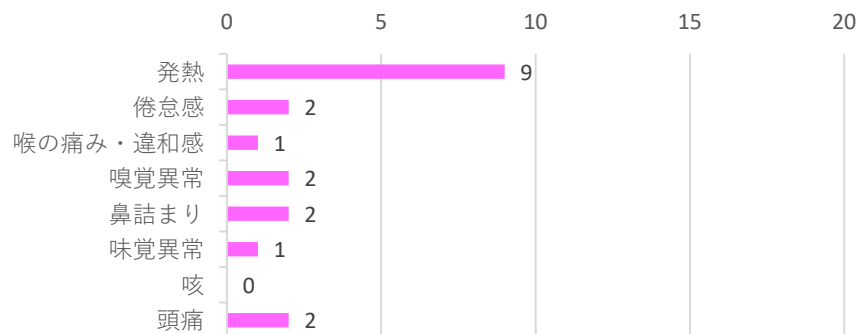
発生事例

3. 症状別状況（チーム関係者）

有症状者の症状別人数（全体）



有症状者の症状別人数（選手）



陽性者における症状別割合

